

2022 上田未来会議・未来学ゼミ【まとめ】

第1回:未来会議Ⅰ

日時:9月24日(土)13:30~
場所:サントミュージゼ(多目的ルーム)
参加者:34人
内容

(1)開講

(2)第1部:基調講演(問題提起)

演題:「地域社会に大学を埋め込む」

—大学・大学生と地域社会を考える(大学の立場から)—

講師:東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤先生

内容:他県の事例をもとに学生(高校生・大学生)が地域の方と同じ課題に取り組むことの意義を学びました。

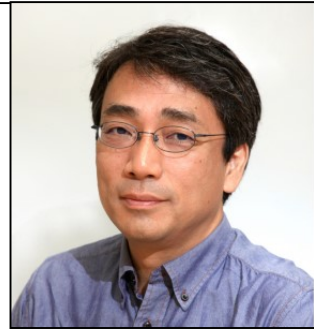
牧野 篤先生 1960(昭和35)年

愛知県生まれ。現在、中央教育審議会生涯学習分科会委員。最近では、自治体と一緒に、公民館や生涯学習の共同研究を行い、多世代交流型コミュニティの構築を進めている。

全国各地で講演講師等ご活躍中です。

<牧野先生講演レジュメ>

1. 「大学はすでに死んでいる」?
2. 「転換点」なのに変わらない社会
3. 目的志向(課題解決・課題達成)型社会
4. 学校と選抜の原理
5. 居場所が欲しい社会へ
6. 日本の大学教養教育の特徴
7. 教養教育をめぐる議論と改革
8. 「教養」と教養教育
9. 個人観・社会観を組み換える
10. AFFORDANCE, MODIFIED-AFFORDANCE, 3つのUN
11. AAR 循環
12. 仮説・検証からアブダクション・プロセスへ
13. 大学教養教育と大学の組織論
14. BY ALL の組織へ
15. 専門から教養を身につける
16. 市井の人々の目線から



※牧野先生の話しが終わったあとでは、先生が休憩が取れないくらい、たくさんの受講生の皆さんが熱心に質問していました。

(3)第2部:ガイダンス・内容:

内容:今後の進め方、「信州上田学」のことなど

講師:長寿社会開発センター・アドバイザー:下倉亮一さん



2022 上田未来会議・未来学ゼミ【まとめ】

第2回：未来会議Ⅱ

日時：10月22日(土)13:30～
場所：駅前ビル・パレオ・2階会議室
参加者：26人
内容

第1部：ゲストトーク：多様な立場の皆さんの「想い」をお聴きしました。

- (1)障がい者の想い：井出今日我さん：障がいがありながら、障がい者の自立支援団体を主宰
- (2)若者たちの想い：長岡秀貴さん：NPO法人 侍学園スクオーラ今人 理事長
- (3)外国人の想い：入安ムニレさん：中国新疆ウイグル自治区出身、上田女子短大ほか講師
- (4)子育て中のお母さんの想い：吉澤茉帆さん：二児の母親・元まちキャンコーディネーター

■手法：ワールドカフェ方式

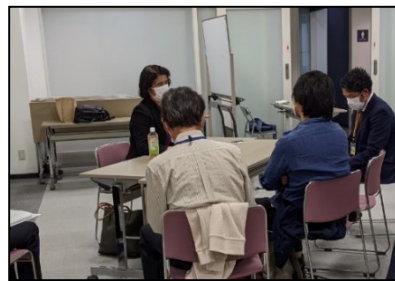
- (1)参加者が、ゲストスピーカーの皆さんと直接お話ができるように、「ワールドカフェ」という手法で行いました。
- (2)参加者がカフェを回るように、ゲストスピーカーのいる、4テーブルを巡っていただき、テーブルごとに話し合っていました。
- (3)参加者は4グループに分かれ、おおむね、1テーブル20分として約80分
- (4)最初に、ゲストスピーカーの皆さんから、①私の活動がはじまったきっかけ(エピソード)と思い、②今、取り組んでいること(チャレンジしていること)、③上田の「ここが好き」(ヒト・モノ・コト)について、お話しがあって、フリートーク

第2部：今後の進め方

■15:10～16:00

- (1)進行：下倉さん
- (2)ゼミの持ち方 ★プラン1：池松さんプレゼン、★プラン2：中澤さんプレゼン

下倉 亮一さん	(公財)長野県長寿社会開発センター 上小支部シニア活動推進コーディネーター
池松 勇樹さん	上田ブランド研究所 所長
中澤純一さん	NPO法人やじろパー 理事長(宅老所もくれん)
竹内 充さん	地域づくりネットワーク長野県協議会 会長



2022 上田未来会議・未来学ゼミ①【まとめ】

第3回：未来会議Ⅱ

日時：11月12日(土)13:30～

場所：サントミュージゼ(多目的ルーム)

参加者：10人

内容

第1部 「(個人で)問題と感じていること」

下倉 亮一さん (公財)長野県長寿社会開発センター

上小支部シニア活動推進コーディネーター

第2部 グループワーク「問題」から「課題」へ

(経験豊富なグループアドバイザーによるサポート)

下倉 亮一さん	(上記のとおり)
池松 勇樹さん	上田ブランド研究所 所長
中澤純一さん	NPO法人やじろベー 理事長(宅老所もくれん)
竹内 充さん	地域づくりネットワーク長野県協議会 会長



2022 上田未来会議・未来学ゼミ②【まとめ】

第4回:未来会議Ⅲ

日時:11月26日(土)13:30～
場所:上田駅前パレオ・2階会議室
参加者:14人
内容

1 事前説明

- ・ 企画思考サイクル「PIVG から PDCA」
- ・ オリジナル「まちづくりシート」の使い方
- ・ 第7回(2月11日)にお願いしたいこと

2 個人作業・グループ編成

- (1)個人 2022 上田未来会議ワークシートの作成
- (2)課題(テーマ)別にグループ分け=自分が話し合いたいテーマ
- (3)休憩(10分)

3 ワークショップの進め方

- ① 自己紹介
- ② 役割決め:代表者(グループ内への連絡)
 - ・ 全員への一斉連絡は市から代表者へメールで連絡
 - ・ グループ内の連絡は代表者を中心に行う。
- ③ グループ内プレゼン3分×人数
- ④ 話し合っていくテーマを決める
例えば、話し合い又はシール投票で3つくらいに絞る。
- ⑤ 連絡先交換:プリンターでコピー
- ⑥ グループ内発表:グループで決まったことを共有
- ⑦ 適宜、伴走者からコメント

4 全体会:グループで話し合われた結果を全員で共有



2022 上田未来会議・未来学ゼミ【まとめ】

第5回:未来学ゼミ③

日時:12月10日(土)13:30～

場所:上田駅前パレオ・2階会議室

参加者:23人

内容

1 個人作業・グループ編成

(1)個人 2022 上田未来会議ワークシートを完成させてみよう!

①(個人的)「問題」から→②(他の人にとっても共通の)「課題」に

③(課題解決することでこんな社会になるという)「展望」をイメージし、

④「目標」を立てて→⑤ここが注目という「セールスポイント」で惹きつけ

⑥具体的解決方法の「提案」→⑦そのためどうしてもという「事前準備」を説明

(2)伴走者からのアドバイス

2 ワークショップ(グループワーク)

(1)課題(テーマ)別にグループ分け

① 自己紹介(新しい人が入ったら全員)

② 前回までの振り返り、決まっていることを共有

③ 役割決めができていない=代表者(グループ内への連絡)

・全員への一斉連絡は市から代表者へメールで連絡

・グループ内の連絡は代表者を中心にし行う。

④ 話し合っていくテーマを決めて(3つ以内)、

グループごと にまちづくりワークシートを作成

※ 適宜、伴走者からコメント

4 全体会:グループで話し合われた結果を全員で共有



2022 上田未来会議・未来学ゼミ【まとめ】

第6回:未来学ゼミ④

日時:令和5年1月28日(土)13:30～

場所:上田駅前パレオ・2階会議室

参加者:27人

内容

1 情報共有 次回のこと

(1)発表順決定(①Aから順に、②くじ、③その他)

(2)発表方法:事務局で用意出来る物:パソコン、プロジェクター、書画カメラ

(3)ワークシートデータ:グループの代表の方は、メールで事前に送信

(4)修了証授与要件

(5)R5年度の企画・実行委員募集

2 グループワーク

(1)グループ

A:若者の居場所 (伴走者:中澤純一さん)

B:誰もが使いやすい公共交通、誰もが使いやすい歩道・道路(伴走者竹内充さん)

C:人づくりによる地域の活性化 (伴走者:池松勇樹さん)

D:地域資源の活用により、住み続けたいと感じられるまち“上田”するには
(伴走者:下倉亮一さん欠席)

(2)2月11日の報告会準備

(3)事務局で準備して欲しい物などは直接、事務局へ

3 全体会:グループ発表練習 7～5分×4グループ=25～30分



2022 上田未来会議・未来学ゼミ【まとめ】

第7回未来会議Ⅲ

日時:令和5年2月11日(土)13:30～

場所:サントミュージゼ(多目的ルーム)

参加者:26人

内容

<第1部>

1 受講生発表

- (1)目的:①そのグループに参加できなかった人にも伝えましょう。
②個人的発見を話すことで自己の考えを整理し次の一歩につなげましょう。
- (2)内容:①グループとして、取組みのプロセス説明
②グループとして、以下のワークシートで、課題と解決策、気づき、その他
③個人として、発見、今後してみたいと思ったこと
- (3)方法:模造紙、パワーポイントなど
1グループ:プレゼン(10分)・質疑応答(5分)・企画アドバイザーコメント(5分)
- (4)時間 90分:20分×4+10(予備)
- (5)グループ
Aグループ:若者の「居場所」 (伴走者:中澤純一さん)
Bグループ:「誰もが使いやすい歩道」 (伴走者:竹内 充さん)
Cグループ:「人づくりによる地域の活性化」(伴走者:池松勇樹さん)
Dグループ:「地域資源の活用」 (伴走者:下倉亮一さん)

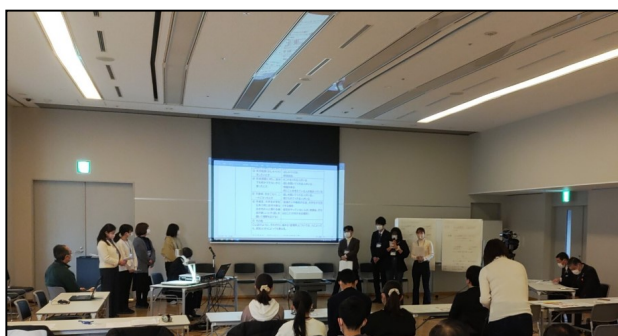
3 主催者(市長)あいさつ

4 修了証授与

5 記念撮影

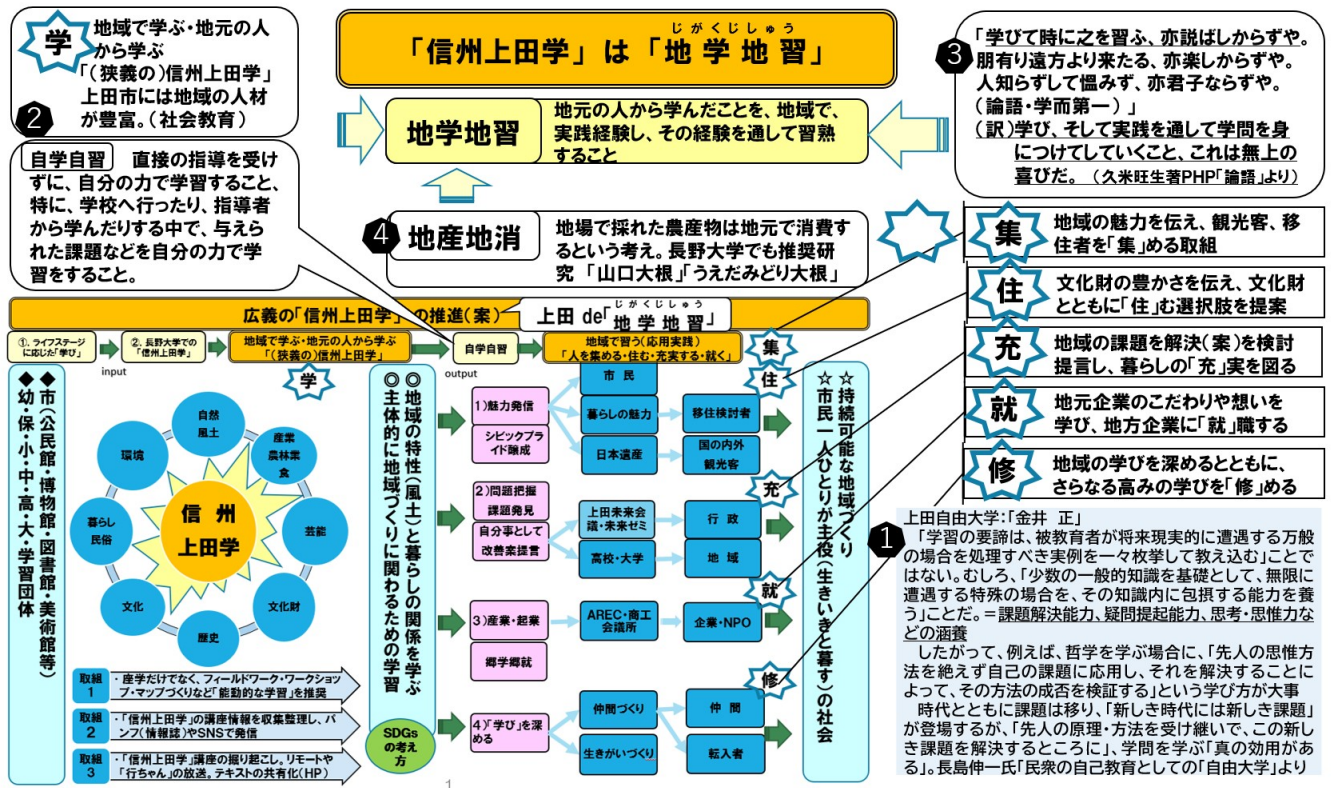
<第2部>

- 1 グループワーク:感想・反省・次年度への取組み
2 全体会:グループごとの発表

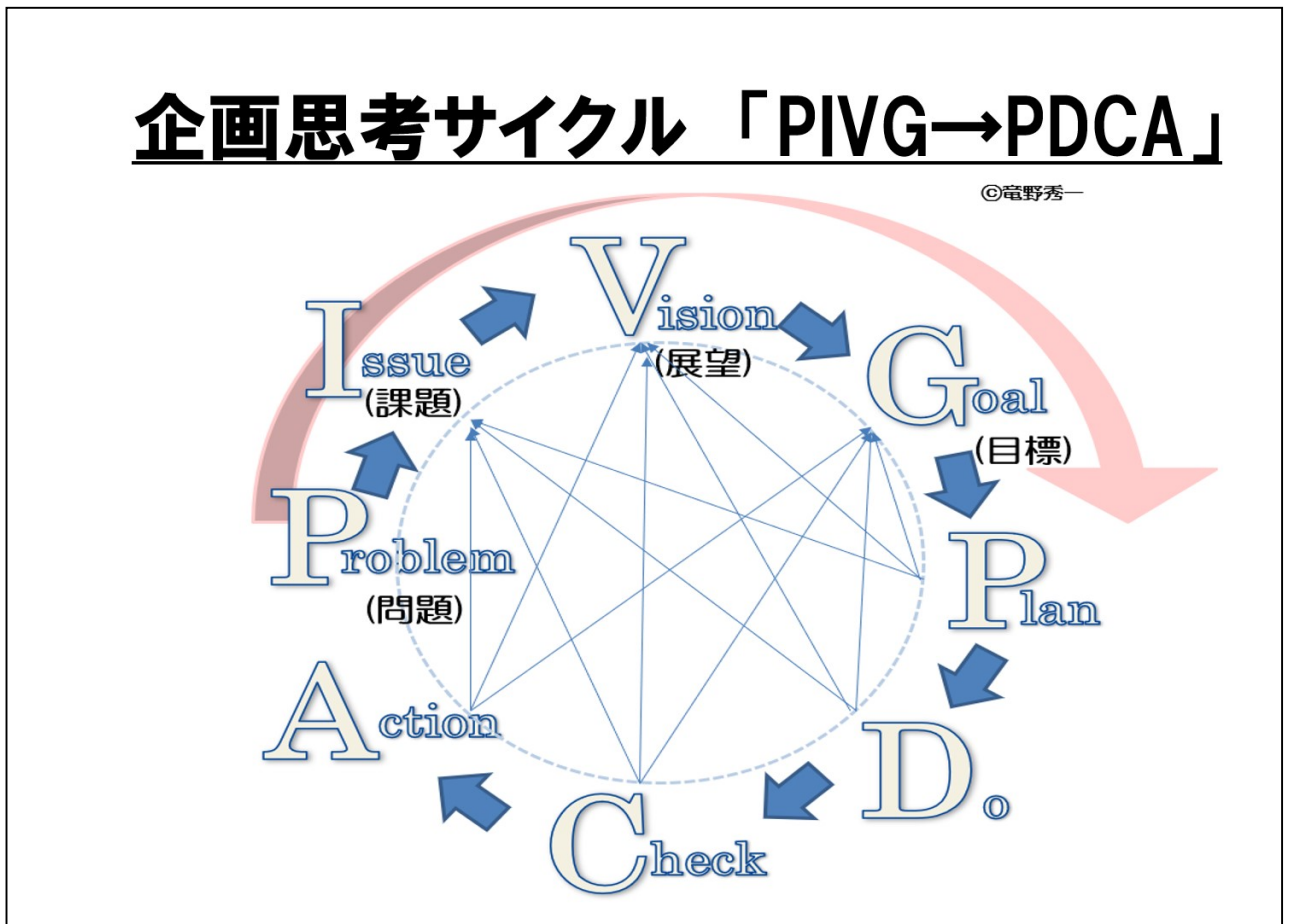


参考:【2022 信州上田学概念図・募集チラシ】

(1)「信州上田学」は「地学地習」



(2)企画思考プロセス





上田未来会議 ・未来学ゼミ



皆さまのご参加をお待ちしています！

上田市では、持続可能な地域の創出に向け、地域に脈々と受け継がれてきた歴史、文化、自然、風土等を「学ぶ」ことで、住民が「住み続けたいと感じられる地域づくり」につなげることはもとより、地域を離れて進学した学生が「上田に帰って来たいと感じる人づくり」、さらには、「上田を離れても地域を想い続けてもらう人づくり」を目的とした「信州上田学事業」を展開しています。

1 内容

- ・地元の皆さんや大学の先生から、「主体的に地域づくりに関わること」の大切さをお聞きます。
- ・学生(高校生・大学生)と社会人がともに、地域の課題や解決策を考え、市に報告していただきます。

2 目的

「信州上田学」の一環として、学生(高校生・大学生)と市民が、一緒に「学び」、話し合いを通じ、課題解決能力、疑問提起能力、思考力など「探究する力」を培う場とします。

3 期間 2022年9月～2月のうち7回 (具体的プログラムは裏面をご覧ください)

9/24、10/22、11/12、11/26、12/10、1/28、2/11(すべて土曜日・午後)

4 参加：要事前申込・参加費無料

・市内にお住い・通勤・通学されている方で、9/24・2/11を含む5回以上出席できる方ならどなたでも**40名程度**

5 問い合わせ・申込先:

申込は**9月16日(金)まで** (定員になり次第締切させていただきます)

上田市役所 政策企画部 学園都市推進室

TEL/0268-75-2502 mail/gakuen@city.ueda.nagano.jp

申込フォーム



= 第1回:未来会議 I =

日時: **9月24日(土)** 13:30~16:00

場所: サントミュージゼ(多目的ルーム)

第1部: 基調講演(問題提起)

(1) 演題: 「地域における学生(高校生・大学生)の役割」

(2) 講師: 東京大学大学院教育学研究科教授 **牧野篤**先生

内容: 他県の事例をもとに学生(高校生・大学生)が地域の方と同じ課題に取り組むことの意義を学びます。

※ 第1部は一般公開で開催! (この講演だけの参加募集は20名)

第2部: ガイダンス・内容:

内容: 日程説明やワークショップの進め方を学びます。

講師: 長寿社会開発センター・アドバイザー: 下倉亮一さん

第3部: ミニワークショップ 少人数に分かれて話し合います。

(1) 牧野先生の講演を聞いて気付いたこと

(2) 4つのテーマについて

①「住み続けたいと感じられるまち“上田”」

②「帰ってきたいと感じるまち“上田”」

③「想い続けてもらうまち“上田”」

④「もっと……まち“上田”」



牧野 篤先生 1960(昭和35)年愛知県生まれ。現在、中央教育審議会生涯学習分科会委員。最近では、自治体と一緒に、公民館や生涯学習の共同研究を行い、多世代交流型コミュニティの構築を進めている。全国各地で講演講師等ご活躍中です。

共催: 長野大学

後援: 上田女子短期大学、信州大学繊維学部、筑波大学山岳科学センター、長野県工科短期大学校 (五十音順)

地域で学ぶ
地元の人から学ぶ

地域で実践経験し
自ら習熟する

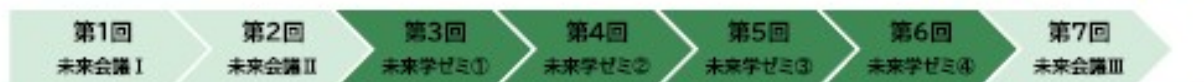
「信州上田学」は
「地学地習」

上田市は国の「SDGs 未来都市」に選定 (2022. 5. 20)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ウエ
ダ
ミ
ライ
カイ
ギ

上田未来会議・未来学ゼミ プログラム



□	<p>第1回: 未来会議Ⅰ (9/24(土)) 13:30~16:00 会場:サントミュージ</p>	<p>第1部:基調講演 (1)演題:「地域における学生(高校生・大学生)の役割」 (2)講師:東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤先生 第2部:ガイダンス (日程等は 表面をご覧ください)</p>	
□	<p>第2回: 未来会議Ⅱ (10/22(土)) 会場:駅前ビル ・パレオ</p>	<p>第1部:ゲストトーク:多様な立場の皆さんの「想い」をお聴きします。 テーマ「私が思う、上田の良い点・悪い点 ほか」 (1)障がい者の想い:井出今日我さん:障がいがありながら、障がい者の自立支援団体を主宰 (2)若者たちの想い:長岡秀貴さん:NPO法人 侍学園スクオーラ今人 理事長 (3)外国人の想い:入安ムニレさん:中国新疆ウイグル自治区出身、上田女子短大ほか講師 (4)子育て中のお母さんの想い:吉澤美穂さん:二児の母親・元まちキャンコーディネーター</p>	



□	<p>第3回: 未来学ゼミ① (11/12(土)) 会場:サントミュージ</p>	<p><「問題点」の洗い出しを行い、「課題」に落とし込みをします> 第1部:グループワーク (経験豊富なグループアドバイザーによるサポート)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>下倉 亮一さん</td> <td>(公財)長野県長寿社会開発センター 上小支部シニア活動推進コーディネーター</td> </tr> <tr> <td>池松 勇樹さん</td> <td>上田ブランド研究所 所長</td> </tr> <tr> <td>中澤純一さん</td> <td>NPO法人やじろべー 理事長(宅老所もくれん)</td> </tr> <tr> <td>竹内 亮さん</td> <td>地域づくりネットワーク長野県協議会 会長</td> </tr> </table> <p>第2部:4つのテーマの「問題点」を出し合います(ワールドカフェ方式など)</p>	下倉 亮一さん	(公財)長野県長寿社会開発センター 上小支部シニア活動推進コーディネーター	池松 勇樹さん	上田ブランド研究所 所長	中澤純一さん	NPO法人やじろべー 理事長(宅老所もくれん)	竹内 亮さん	地域づくりネットワーク長野県協議会 会長
下倉 亮一さん	(公財)長野県長寿社会開発センター 上小支部シニア活動推進コーディネーター									
池松 勇樹さん	上田ブランド研究所 所長									
中澤純一さん	NPO法人やじろべー 理事長(宅老所もくれん)									
竹内 亮さん	地域づくりネットワーク長野県協議会 会長									
□	<p>第4回 (11/26(土)) 第5回 (12/10(土)) 第6回 (R5-1/28(土)) 会場:駅前ビル ・パレオほか</p>	<p><第4回:未来学ゼミ②> 「解決案」の仮説(展望)を立案 <第5回:未来学ゼミ③> 「仮説」の検証のための研究 <第6回:未来学ゼミ④> 検証した「仮説」をもとに「提言」を立案 ※第4回~第6回は、グループごとに活動しますので、日程や会場が変更になる可能性があります。</p>	<p>◆未来学ゼミの進め方 SDGsの視点から考えてください。 (原則)まとめていく過程が大切です。参加者に主体的に進めていただきます。 (助言)グループ活動ではグループアドバイザーから助言を頂きます。</p>							
□	<p>第7回: 未来会議Ⅲ (2/11(土)) 会場:サントミュージ</p>	<p><グループ発表&意見交換> 第1部 4つのテーマ: ①「住み続けたいと感じられるまち“上田”」 ②「帰ってきたいと感じるまち“上田”」 ③「想い続けてもらうまち“上田”」 ④「もっと……まち“上田”」 第2部 理事者・担当者からコメント 第3部 振り返り・修了証授与</p>	<p>◆グループ発表(プレゼン) 目的:グループ活動に参加できなかった人にも伝えるイメージで簡潔に発表してください。また、自己の意見を整理し次の一歩につなげてください。 方法①グループとして:取組みのプロセス説明 ②グループとして:課題と解決策、気付きほか ③個人として:意見、今後してみたいこと など</p>							

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催方法及び会場の変更、または、中止となる場合がございます。その際はお申し込みいただいた方全員に連絡させていただきます。